



RI 第 2 6 1 0 地区

井波庄川ロータリークラブ会報

2011-2012 年度 No. 9

事務局 〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4 福光会館 3F
ふくみつ光房内 TEL 0763-53-1333 F A X 0763-53-1334、

inashorc@athena.ocn.ne.jp

2011-2012 年度 会長 高瀬顕正、幹事 浅田裕二

2011-2012 年度 RI テーマ



「このころの中を見つめよう
博愛を広げるために」
(カルヤン・パネルジー会長)

例 会 記 録

第 1 5 8 7 回例会

平成 2 3 年 9 月 7 日(水) 井波文化センター研修室

1. 点 鐘 高瀬顕正会長
2. 君が代斉唱
3. ソング 「奉仕の理想」
4. ビジター：池田義則君（金沢香林坊）、松本敏博君（南砺）
5. 月誕生日：横山豊介会員（20 日）浅田裕二君（24 日）
長谷川吉美会員（25 日：欠）



6. 会長の時間：今日は久しぶりにホームグラウンドに戻

りました。早朝例会、納涼例会、木彫刻キャンプクリ
ーン作戦と行事が続きました。また、本日は 2 名のビ
ジターをお迎えし、大変嬉しく思います。また、月誕
生日の横山さん、浅田さんおめでとうございます。今
年の夏は暑く、また雨も多かったので、今日の北日本
新聞によると県内に“アメリカシロヒトリ”が大量発
生しているそうです。私の家の柿にもついて、葉っぱ
が穴だらけになり、業者に駆除をお願いしました。柿
と言えば、昔からどこの農家にもあるが、あまり今は
食べません。リンゴなどの果物を店から買ってきては
食べますが…。私の家では、妻が柿が好きで、よく採
ってくれるので私も食べますので、駆除をお願いした
わけです。さて、随分涼しくなってきました。皆さん、
元気で頑張りましょう。

7. 幹事報告：①全国ロータリー囲碁大会が、10 月 22 日
に開催。②2610 地区 2012-2013 年度ガバナー事務所
が富山市電気ビル内に開設されました。③本日皆さん
にお配りしたのは、確定申告用書類です。
8. 委員会報告：①出席委員会（代理：岩崎 S A A）：本
日 20 名中 15 名出席（75.00%）・・・8 月出席率
85.00%（調整後）8/3（80%）8/10（80%）8/24（85%）
8/31（95%）②広報委員会（三谷委員長）：「友」早読
みで、今月は新世代月間です。愛読下さい。私の家にも、
柿の木に虫がつかしました。③米山カウンセラー（
斎藤会員）：一昨日、高源さんと新湊中央 R C を訪問。
彼女は、阿部さんの助けを借りて、Powerpoint で研

究の事、中国の瀋陽の事を卓話してきました。御主人と練習したようで、大変わかりやすい話でした。来週は新湊RCを訪問します。④社会奉仕委員会(三角委員長):31日は「国際木彫刻キャンプクリーン作戦」に参加頂き、有難うございました。今後の井波地区ごみゼロは、新たな方向で清掃奉仕を行いたいと検討しています。⑤その他(山本会員):8月10日例会日に、娘のインターハイの応援に、弘前に行って、時間を見て弘前西RCにメイキャップしてきました。我がクラブより設立が1年早い昭和63年で、会員数30数名ですが出席者は18-9名という、よく似た規模のクラブでとてもアットホームないい例会でした。特徴は、市内に弘前大学という国立大学があり、米山奨学生とは別のクラブ独自で外国人私費留学生に歯車奨学金を出しておられます【年間26万円、1年間支給】。また、例会中に、黒ひげ人形という矢をさして人形が飛び出したら当たりということで、特別のニコBOXを設けていること、例会のあるホテルニューカッスルの食事には、いつもカロリーが発表されていることです(ちなみにその日の昼食は、約650kcalでした。



9. **ニコニコBOX**(副幹事代理:本日7名、8000円。参考:8月計27000円、年度累計90000円)

高瀬会長:1カ月ぶりにホームグラウンドに戻ってきました。さわやかな秋、到来。会員の皆様、張り切って有意義な日々を!

横山豊介会員:誕生祝い、有難うございました。

小西会員:早退します。28日の例会は私の卓話当番です。今ベストセラーで話題の「白馬に乗った王子様」の地元小説家、石岡琉衣君を卓話にお願いしてあります。なにとぞ多くの出席をお願いします。

山本会員:久しぶりの例会です。年甲斐もなく、日曜日にソフトボールでいい所を見せようとして、足がつってしまいました。

河合会員:台風12号の為、JRサンダーバードが運休して、1日遅れましたが姫路方面へ仕事の材料探しに行ってきました。川の水量が多くて道路がえぐられていました。

浅田会員:今月24日、誕生日です。

岩崎会員:池田様ようこそ、3名様おめでとうございます。早退します。井波大火記念祭のため。

卓話「新世代月間にちなんで」C. A.

高瀬顕正会長(代理)

高瀬会長:長谷川吉美新世代委員長が体調不良で、代理を務めます。9月は新世代のための月間で、本日配布のロータリーの友には、特集が組んであります。横書き1頁には、カルヤン・バネルジーRI会長の「より若い会員をロータリーに」をテーマに、若い会員を連れてくる、ロータリーの家族というアイディアに立ち返るということで記事が掲載されています。ゆっくりお読みください。また、5頁からは、青少年交換学生の体験者の記事が、11頁からは、新世代の様々な活動が記事になっています。私が、PETSで頂いた資料によると、新世代には、いくつかのプログラムがあります。①インターアクトは、対象が12-18歳で、学生で国際理解、友好精神を学ぼうという目的があります。②ロータリーアクトは、対象が18-30歳で、社会人で、国際友好を目的として、30歳を過ぎたらロータリアンになってもらいたいという意図もあります。③ロータリー青少年交換は15-19歳の学生を受け入れと派遣を行うものです。長期は、1年。短期は、数週間。④ロータリー青少年指導者養成プログラムは、14-18歳と19-30歳にわかれて、ロータリアンの研修する場があります。

当クラブの事務局の阿部さんも、この青少年交換学生の経験があります。この後、少しスピーチをしてもらいます。



阿部祥世さん：突然の指名で驚いております。高校の授業で、突然あてられて困った心境です。私は高校2年の時に、青少年交換学生で、ナイアガラの滝の近くのカナダ・オンタリオ州に、1年間派遣されました。3家族のホストファミリー宅に滞在しました。各家庭の事情も違うことから、その地域の文化を学ぶ意味で、2家族以上のホストファミリーを経験することが義務付けられています。

実家の父がロータリアンで、交換留学生も受け入れていました。関東地区では選抜試験があるということでしたが、この地区はほぼ応募すれば大丈夫ということで、そういう意味ではラッキーでした。

留学した当初は、コミュニケーションが出来ず、泣いてばかりいました。学校でも友達が出来ず、日本では外国人は珍しいので、構ってもらえるでしょうが、向こうは良く似たチャイニーズがいるので、そんなこともなく、結局は自分から心を開いて、相手に接するしかないことが分かり、次第にこちらから話しかけるようにして受け入れられるようになりました。

帰国してからは、行く時までそんなにも思わなかった人との関わり合いが、すごく深まりました。留学すると、日本では留年するわけですので、返ってくると下の学年に入ります。でも、それぞれの学年に友達が出来2倍の付き合いが出来るようになり交流の輪が広がりました。ロータリーの事務局をさせて頂き、更にこの人との付き合いが財産と感じました。今後は、言葉をもっとスキルアップし、自分を死ぬまで磨こうと思います。

山本会員：最後に少しお時間をいただきましたが、全くロータリーには関係ありませんが、お許しください。何年か前に、卓話をさせて頂いた「倫理法人会」という会があり、

今年も世話をする友人から1カ月だけ会員になってほしいと誘われ、了解しましたが、その際、送付されてきたのが、今お配りする冊子です。この会は、朝礼こそが、会社や組織の規範をよくしたり、企業倫理を高める源になるという事で活動をしています。県内には6か所あり、毎週1日朝6時から会合をしています。これは、毎朝の朝礼に役立つということで配られた冊子です。読んでみましたら、大変ためになりました。是非皆さんもお持ち帰りになって、お時間ある時に目を通していただければ幸いです。